

在リテハ本號歩兵ノ退營ト同時トス



(別紙)

一 兵役法施行令(以下令ト稱ス)第五十九條ノ規定
ニ依リ昭和九年ニ於テ徵集スヘキ現役兵及第一補充
兵ノ員數別表第一號乃至第三號ノ通配賦ス

二 兵役法第十四條第二號ノ規定ニ依リ在營期間ヲ短
縮スル者ニ関シ左記各號ノ通定ム

本號中歸休見込^者トハ令第三十一條第一項ノ規定ニ該
當スル者ニシテ品行方正學術勤務ノ成績特ニ優秀ナ
ル者又ハ貧困ノ為家事上支障アル者ニシテ品行方正
學術勤務ノ成績普通以上ノ者ヲ謂フ

(1) 近衛第十九第二十師團及臺灣軍ノ歩兵聯隊ニ在

リテハ別表第四號ノ現役兵入營ノ爲新ニ入營スル
兵員ト其ノ前二期ノ在營兵員トヲ合計シタル人員
カ兵ノ平時編制定員ノ四分ノ三(朝鮮國境守備隊
ニ在リテハ平時編制定員)ニ超過スル人員ヲ生ス
ルトキハ概ネ一年以上在營シタル者ニシテ歸休見
込者中ヨリ其ノ超過スル人員ヲ各入營期日ノ前日
ニ於テ歸休退營セシム

(四) 第三師團(野戰重砲兵第二第三聯隊、高射砲第一
聯隊、飛行第一第二第七聯隊ヲ除ク)第七師團(函館重
砲兵大隊ヲ除ク)第十六師團(舞鶴重砲兵大隊、飛
行第三聯隊ヲ除ク)ノ歸休退營ニ付テハ別ニ定ム

事變地ニ在ル前項以外ノ部隊（第八第十第十四師團ヲ除ク）ノ歸休退營ニ付亦同シ

(ハ) 前ニ號以外ノ諸部隊ニ在リテ別表第四號ノ現役兵入營ノ為兵ノ平時編制定員ニ超過スル人員ヲ生スルトキハ昭和八年徵集兵タル歸休見込者中ヨリ其ノ超過スル人員ヲ當該部隊ノ昭和七年徵集兵（歩兵ニ在リテハ令第三十一條第一項ノ規定ニ依リ在營ヲ六月短縮セラレサル者）ト同時ニ歸休退營セシム但シ衛戍病院ノ兵ニ在リテハ本號歩兵ノ退營ト同時トス

昭和九年徵集陸軍現役兵各隊配當員數區分

部 隊 別	歩兵隊				戰車隊	裝甲自動車隊	騎兵隊	騎砲兵隊	山砲兵隊	野砲兵隊	野戰重砲兵隊	騎砲兵隊	重砲兵隊	高射砲隊	工兵隊	鐵道隊	電信隊	飛行隊	氣球隊	輜重兵隊	關東軍自動車隊	關東衛戍病院	計	備		考								
	近衛	第一	第二	第三																				第四	第五		第六	第七	第八	第九	第十	第十一	備	
																																	人員	單位
近衛	東一、東二、東三、東四、東五	東一、東二、東三、東四、東五	東一、東二、東三、東四、東五	東一、東二、東三、東四、東五	東一、東二、東三、東四、東五	東一、東二、東三、東四、東五	東一、東二、東三、東四、東五	東一、東二、東三、東四、東五	東一、東二、東三、東四、東五	東一、東二、東三、東四、東五	東一、東二、東三、東四、東五	東一、東二、東三、東四、東五	東一、東二、東三、東四、東五	東一、東二、東三、東四、東五	東一、東二、東三、東四、東五	東一、東二、東三、東四、東五	東一、東二、東三、東四、東五	東一、東二、東三、東四、東五	東一、東二、東三、東四、東五	東一、東二、東三、東四、東五	東一、東二、東三、東四、東五	東一、東二、東三、東四、東五	東一、東二、東三、東四、東五	東一、東二、東三、東四、東五	東一、東二、東三、東四、東五	東一、東二、東三、東四、東五								
第一	東一、東二、東三、東四、東五	東一、東二、東三、東四、東五	東一、東二、東三、東四、東五	東一、東二、東三、東四、東五	東一、東二、東三、東四、東五	東一、東二、東三、東四、東五	東一、東二、東三、東四、東五	東一、東二、東三、東四、東五	東一、東二、東三、東四、東五	東一、東二、東三、東四、東五	東一、東二、東三、東四、東五	東一、東二、東三、東四、東五	東一、東二、東三、東四、東五	東一、東二、東三、東四、東五	東一、東二、東三、東四、東五	東一、東二、東三、東四、東五	東一、東二、東三、東四、東五	東一、東二、東三、東四、東五	東一、東二、東三、東四、東五	東一、東二、東三、東四、東五	東一、東二、東三、東四、東五	東一、東二、東三、東四、東五	東一、東二、東三、東四、東五	東一、東二、東三、東四、東五	東一、東二、東三、東四、東五	東一、東二、東三、東四、東五	東一、東二、東三、東四、東五							
第二	東一、東二、東三、東四、東五	東一、東二、東三、東四、東五	東一、東二、東三、東四、東五	東一、東二、東三、東四、東五	東一、東二、東三、東四、東五	東一、東二、東三、東四、東五	東一、東二、東三、東四、東五	東一、東二、東三、東四、東五	東一、東二、東三、東四、東五	東一、東二、東三、東四、東五	東一、東二、東三、東四、東五	東一、東二、東三、東四、東五	東一、東二、東三、東四、東五	東一、東二、東三、東四、東五	東一、東二、東三、東四、東五	東一、東二、東三、東四、東五	東一、東二、東三、東四、東五	東一、東二、東三、東四、東五	東一、東二、東三、東四、東五	東一、東二、東三、東四、東五	東一、東二、東三、東四、東五	東一、東二、東三、東四、東五	東一、東二、東三、東四、東五	東一、東二、東三、東四、東五	東一、東二、東三、東四、東五	東一、東二、東三、東四、東五	東一、東二、東三、東四、東五	東一、東二、東三、東四、東五						

一 本表中△印ヲ附スルモノハ看護兵、×印ヲ附スルモノハ補助看護兵、○印ヲ附スルモノハ補重兵特務兵、高射砲隊第二十六聯隊高射砲隊ノ要人員ヲ示ス
 二 第十四師團歩兵第五十九聯隊ノ入營スヘキ看護兵ニシテ宇都宮衛戍病院ノ人員中ニハ支那駐屯軍司令部電通信信要員ヲ含ム
 三 電信第一、第二聯隊ノ電信兵人員中ニハ昭和八年軍令陸乙第四號第三條ノ人員ヲ含ム又電信第二聯隊ニハ支那駐屯軍司令部電通信信要員ヲ含ム
 四 第七、第十一、第十六師團ノ衛戍病院ノ人員ハ當該師團ノ留守又ハ殘置部隊ニ入營セシム
 五 本表ノ人員ニハ第二號表ノ人員ヲ含マサルモノトス

各隊配當員數區分表

人員	七	第	八	第	九	第	十	第	十一	第	十二	第	十四	第	十六	第	十九	第二十	臺灣軍	關東軍	計																																			
																						人員	人員	人員	人員	人員	人員	人員	人員	人員	人員	人員	人員	人員	人員	人員	人員	人員	人員	人員	人員	人員														
計	32	17	31	5	計	36	19	55	7	計	63	10	40	39	計	44	43	22	19	計	48	46	24	14	計	50	15	59	9	計	38	33	20	9	計	76	76	74	73	計	80	79	78	77	計	2	1	計	26	25	14	13				
山形	11	秋田	7	弘前	1	青森	1	計	高知	徳島	松山	善通寺	久留米	大村	福岡	小倉	松本	高崎	宇都宮	水戸	奈良	津	福知山	京都	羅南	會寧	成興	羅南	大邱	龍山	龍山	平壤	臺南	臺北	野砲獨立	騎兵	騎兵	騎兵	騎兵	計	4	3	計	4	3	計	3	2	計	13	11	10	計	13	11	10
計	24	23	8	計	24	23	8	計	6	5	24	24	計	6	5	24	24	計	6	5	24	24	計	6	5	24	24	計	6	5	24	24	計	6	5	24	24	計	6	5	24	24	計	6	5	24	24									

スルモノハ野砲兵第二十六聯隊高射砲隊ノ要人員ヲ示ス

陸軍省
9.7.9
第49號
器材課

保存期限
十年
決裁指定
次官
決行指定

陸軍省
9.6.28
時
衣糧課

大臣 房官臣大	主務局課	大臣 委		受領番號	昭 和 九 年 陸 密 第 一 四 一 號 二 關 及 以 下 件	武 第 五 六 七 號
領受 昭 和 九 年 六 月 八 日	提出 昭 和 九 年 六 月 八 日	政務次官	受領番號			
領受 昭 和 九 年 六 月 八 日	提出 昭 和 九 年 六 月 八 日	次官	受領番號			
領受 昭 和 九 年 六 月 八 日	提出 昭 和 九 年 六 月 八 日	主務局長	受領番號			
(裁決)行決 覽回後		連帶				
局長	局長	高級副官	參與官			
主務課長	主務課長	書記				
主務課員	主務課員					

政務次官
參與官
同付
陸軍省
9.6.21
陸軍省
7.11.14
補任課

陸軍省
9.6.19
3315
軍事課

陸軍省
9.7.21
117

陸軍省
9.7.13
9.7.4
馬政課

陸軍省
9.7.6

陸軍省
6.22



副官ヨリ各師團(師団第九第十)参考謀長(第三第七、第十第六師團)宛通牒索

陸軍

近衛師團歩兵聯隊二期入営制廢止ニ件ニ
本年三月二十四日附陸軍第一四一號ニ関シ左
記ノ通承知相成度

左記

陸軍第三七六號 昭和九年七月二日

一 別紙第二號中近衛師團ニ関スル事項ハ之
ヲ左ノ如ク取扱フコトニ改ム

近衛師團ニ在リテ昭和九年徵集兵入営ノ為
兵ノ平時編制定員ニ超過スル人員ヲ生スル



トキハ概ネ一年在營シタル歸休見込者中
ヨリ其ノ超過スル人員ヲ昭和七年徵集
後期入營兵ニシテ在營一年六月ノ者ノ退
營ト同時ニ敝休退營セシム
ニ別表中近衛師團ノ二期入營ニ關スル事項
ハ自然之ヲ廢止ス

副官ヨリ臺灣傳、團員集第百九第十二師團
參謀長、參謀本部教育總監部庶務課
長、陸軍航空本部部長、兵部本部部長、進
階案

陸軍部

首題ノ件ニ関シ別紙ニ通過牒シタルニ付承知

相成度

陸軍部第三七六號 昭和九年七月二日

(別紙ニ別官ヲ各師團参考課長ニ通牒ノ旨又トス)

ニ陸軍部ニ送付ス

ニ陸軍部ニ送付ス

陸軍部ニ送付ス

陸軍部ニ送付ス

陸軍部ニ送付ス

陸軍部ニ送付ス

参考

陸密第一四一號

現役多及第一補充多ノ配賦並ニ之役性
高修ノ規定ニ依リ在學期間ヲ短縮スル者
ノ関スル件

首題ノ件ニ関シ別紙ノ通定ム

昭和九年三月二十三日

大臣

(別紙)

一 兵役法施行令(以下令ト稱ス)第五十九條ノ規定

ニ依リ昭和九年ニ於テ徵集スヘキ現役兵及第一補充兵ノ員數別表第一號乃至第三號ノ通配賦ス

二 兵役法第十四條第二號ノ規定ニ依リ在營期間ヲ短縮スル者ニ關シ左記各號ノ通定ム

本號中歸休見込^者トハ令第三十一條第一項ノ規定ニ該當スル者ニシテ品行方正學術勤務ノ成績特ニ優秀ナル者又ハ貧困ノ爲家事上支障アル者ニシテ品行方正學術勤務ノ成績普通以上ノ者ヲ謂フ

(1) 近衛第十九、第二十師團及臺灣軍ノ歩兵聯隊ニ在

リテハ別表第四號ノ現役兵入營ノ爲新ニ入營スル
兵員ト其ノ前二期ノ在營兵員トヲ合計シタル人員
カ兵ノ平時編制定員ノ四分ノ三ニ朝鮮國境守備隊
ニ在リテハ平時編制定員ニ超過スル人員ヲ生ス
ルトキハ概ネ一年以上在營シタル者ニシテ歸休見
込者中ヨリ其ノ超過スル人員ヲ各入營期日ノ前日
ニ於テ歸休退營セシム

(四) 第三師團(野戰重砲兵第二第三聯隊、高射砲第一
聯隊、飛行第一第二第七聯隊ヲ除ク)第七師團(函館重
砲兵大隊ヲ除ク)第十六師團(舞鶴重砲兵大隊、飛
行第三聯隊ヲ除ク)ノ歸休退營ニ付テハ別ニ定ム

事變地ニ在ル前項以外ノ部隊（第八第十第十四師團ヲ除ク）ノ歸休退營ニ付亦同シ

(イ) 前二號以外ノ諸部隊ニ在リテ別表第四號ノ現役兵入營ノ為兵ノ平時編制定員ニ超過スル人員ヲ生スルトキハ昭和八年徵集兵タル歸休見込者中ヨリ其ノ超過スル人員ヲ當該部隊ノ昭和七年徵集兵（歩兵ニ在リテハ令第三十一條第一項ノ規定ニ依リ在營ヲ六月短縮セラレサル者）ト同時ニ歸休退營セシム但シ衛戍病院ノ兵ニ在リテハ本號歩兵ノ退營ト同時トス

昭和九年徵集陸軍兵配賦員數區分表

種	役	現																				計
		兵										砲										
		歩	戰	騎	野	山	野	野	野	野	野	工	工	工	工	工	工	工	工	工	工	
第一	近衛	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	
第二	近衛	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	
第三	近衛	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	
第四	近衛	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	
第五	近衛	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	
第六	近衛	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	
第七	近衛	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	

備考

一 本表中「カ」付セルハ兵役法施行規則(以下規則ト稱ス)第七條ノ二第ニ號該當者ヲ示ス

二 規則第九十條第三號ノ規定適用上左記各項ニ依ルモノトス

(イ) 徵集ハ入營部隊ニ於ケル中隊數ニ比例セシムヘキモ特ニ指定スルモノノ左ノ如シ

戰車兵 中隊數ノ一・五倍ニ比例セシム

騎砲兵 中隊數ノ二分ノ一ニ比例セシム

高射砲兵 中隊數ノ二倍ニ比例セシム

電信兵 中隊數ノ二倍ニ比例セシム

輜重兵 中隊數ノ二倍ニ比例セシム

(ロ) 入營部隊ニ於ケル中隊數換算上第三、第十六師團中所要ノ部隊ニ付

一 中隊ノ人員(二年次分トス)ヲ左ノ如ク定ム

步兵 二七六名 騎兵 二二六名 野砲兵 二四八名

工兵 一六二名 輜重兵 一五〇名

(ハ) 飛行聯隊ニ於ケル中隊數換算ノ爲整備隊ノ人員ハ一〇〇名(二年次分トス)ト定ム

三 二期ニ分チ入營セシムヘキ部隊ノ要員タル現役兵ノ毎期ノ入營人員ニ付テハ特ニ左ノ如ク前期入營人員ヲ増加スルモノトス

近衛師團ノ各步兵聯隊 二二名 第十九師團ノ各步兵聯隊 二八名

第二十師團ノ各步兵聯隊 一七名 臺灣軍ノ各步兵聯隊 三七名

本增加人員ノ徵集師管區分ハ入營部隊ヲ管轄スル師團長又ハ軍司令官ニ於テ之ヲ定メ速ニ徵集師管ノ師團長ニ通知スルモノトス

四 規則第七條ノ二該當者ハ本備考第五ノ場合ヲ除キ二期入テハ前期入營兵ト爲スモノトス

五 兵役法施行令第三章第七款ノ規定ニ依リ現役兵ノ開員ヲニ於テ其ノ師團以外ノ部隊ノ要員トシテ配賦シタル補充兵之ニ不足ヲ生シタルトキト雖其ノ師團内ニ當該兵種ノ補充ハ之ヲ其ノ補充ニ充ツルモノトス

六 關東軍諸部隊中其ノ徵集師管ニ付特ニ指定スルモノノ左ノ獨立步兵第一聯隊

戰車第一大隊

戰車第三大隊

騎兵第一大隊

騎兵第四大隊

騎兵第一旅團裝甲自動車隊(戰車兵トス)

第十四師團

區分表 其一

中	第六	第七	第八	第九	第十	第十一	第十二	第十三	第十四	第十五	第十六	合計
近衛	近衛	近衛	近衛	近衛	近衛	近衛	近衛	近衛	近衛	近衛	近衛	近衛
第二十	第七	第九	第八	第三	第十二	第五	第六	第一	第三	第四	第四	第六
計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計
100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100
...

本備考第五ノ場合ヲ除キ二期入營部隊ニ在リ
 第七款ノ規定ニ依リ現役兵ノ關リ補充スル場合
 部隊ノ要員トシテ配賦シタル補充兵ナキトキ又ハ
 ナキト雖其ノ師團内ニ當該兵種ノ補充兵ヲ有スル間
 徴集師管ニ付特ニ指定スルモノ左ノ如シ

騎兵第四旅團裝甲自動車隊(戰車兵トス)
 騎兵第十三、第十四聯隊
 騎兵第一旅團機關銃隊
 騎兵第二十五、第二十六聯隊
 騎兵第四旅團機關銃隊
 飛行第十大隊
 飛行第十一大隊
 飛行第十二大隊

第一師管
 第二師管
 第三師管
 第四師管
 第五師管
 第六師管
 第七師管
 第八師管
 第九師管
 第十師管
 第十一師管
 第十二師管
 第十三師管
 第十四師管

第一師管
 第二師管
 第三師管
 第四師管
 第五師管
 第六師管
 第七師管
 第八師管
 第九師管
 第十師管
 第十一師管
 第十二師管
 第十三師管
 第十四師管

各隊配當員數區分表

昭和九年三月陸軍省印刷

第	隊	計				第	隊	計				第	隊	計				
		山形	秋田	弘前	青森			山形	秋田	弘前	青森			山形	秋田	弘前	青森	山形
第	八	計	32	17	31	5	陸軍	計	32	17	31	5	陸軍	計	32	17	31	5
第	九	計	36	19	35	7	陸軍	計	36	19	35	7	陸軍	計	36	19	35	7
第	十	計	63	10	40	39	陸軍	計	63	10	40	39	陸軍	計	63	10	40	39
第	十一	計	44	43	22	12	陸軍	計	44	43	22	12	陸軍	計	44	43	22	12
第	十二	計	48	46	24	14	陸軍	計	48	46	24	14	陸軍	計	48	46	24	14
第	十四	計	50	15	59	2	陸軍	計	50	15	59	2	陸軍	計	50	15	59	2
第	十六	計	38	33	20	9	陸軍	計	38	33	20	9	陸軍	計	38	33	20	9
第	十九	計	76	75	74	73	陸軍	計	76	75	74	73	陸軍	計	76	75	74	73
第	二十	計	80	79	78	77	陸軍	計	80	79	78	77	陸軍	計	80	79	78	77
臺灣軍		計	2	1			陸軍	計	2	1			陸軍	計	2	1		
關東軍		計	12	11	10	8	陸軍	計	12	11	10	8	陸軍	計	12	11	10	8
計		計	100	100	100	100	陸軍	計	100	100	100	100	陸軍	計	100	100	100	100

モノハ野砲兵第二十六聯隊高射砲隊ノ要人員ヲ示ス

保存期限

永久

決裁指定

次官委任

決行指定

牛島

房官臣大		課局務主			件名	番受 號領		
了結	領受	出提	領受	號番				
昭和 年 月 日	昭和 年 月 日	昭和 九年 八月 十六 日	昭和 年 月 日	重微第一三一號	昭 和 九 年 徵 集 陸 軍 兵 配 賦 員 數 中 變 更 上 關 件	貳 第 五 六 七 號		
(裁決)行決 覽回後		帶連					局長	政務 次官
局長		局長					主務 局長	次官
局長		局長					課長	高級 副官
局長		局長					課長	參與官
局長		局長					主務課員	書記官
局長		局長					主務課員	審案 筆記者
局長		局長					主務課員	
局長		局長					主務課員	
局長		局長					主務課員	

政務次官 回付

決裁前連帶
後課名軍事兵務

動員主計

行(決裁)後

防備器打銃砲

衛生

衛生

衛生

衛生

衛生

衛生

衛生

衛生

衛生

衛生

陸軍省
9.8.24
68

省
9.8.24

官

副官ヨリ各師團朝鮮軍臺博軍関東軍
参謀長(第三第七第十六師團ニ)、(毎三三留守部経由)、参謀本部教
育總監部庶務課長、陸軍航空本部長、陸
軍省署本部長へ通牒案

陸密

本年三月陸密第一四一號達ニ依ル昭和九
年徵集陸軍兵配賦員教中別紙ノ通變又更
サレタルニ付依命通牒ス

陸密第四六〇號 昭和九年八月十七日

陸軍省庶務課長ヨリ各師團朝鮮軍臺博軍関東軍
参謀長ニ付依命通牒ス

別紙

昭和九年三月陸軍第一四一號達中変更事項
一 達別表第一號昭和九年徵集陸軍
兵配賦員數區分表中附表ノ通増減
ス

二 達別表第四號昭和九年徵集陸軍現役
兵各隊配當員數區分表中飛行隊飛行
兵ノ人員ヲ左ノ通増加ス（本人員ハ特ニ増
加スル人員ニシテ別ニ指示アル迄ハ各隊ノ
定員外トシテ取扱フモノトス）

軍令第五

飛行隊飛行員增加人員區分表

師團軍	近衛第	三	第三	第六	第十	臺灣	關東	合計				
隊號	5	1	2	7	4	3	6	8	10	11	12	
人員	一七六	二五	二〇	三三	三五	二五	三一	二三	三〇	四〇	三五	七六一
計	一七六		三六六		三五	二五	三一	二三		一〇五		七六一

附表

昭和九年徵集陸軍兵配賦員數區分表中増減表

計	第一補充兵										計	現役		師管 所屬師團軍	
	騎兵	砲兵	砲兵			騎兵	步兵	步兵	航空兵	飛行兵		航空飛行兵	歩兵		歩兵
			重砲兵	野戰重砲兵	山砲兵										
一〇一												九三八	近衛第一師團		
六三												四九一	第三師團		
六二												六二	第三師團		
五〇												一五三五	第六十二師團		
四一												四五(四)	第三十二師團		
六六												三六二四六	第三十二師團		
三一												三一	近衛第七師團		
五一												一九三二	近衛第八師團		
四一												二〇二一	第三東九師團		
四二												四二	第三東十師團		
四六												三九七	第三東十一師團		
五一												一〇三〇一七三	第三東十二師團		
七三												七三	第三東十四師團		
四												三三	近衛第一師團		

備考

一 本表中現役兵ノ欄ノ數ハ増加スルキ數(活潑内ノ數)ハ減スルキ數(第一補充兵ノ欄ノ數)ハ減スルキ數トス

二 關東軍諸部隊中其ノ徵集師管ニ付特ニ指定シテルモノ(逡別紙第一號表備考第六)左ノ通増加ス
 飛行第十大隊 第十二師管
 飛行第十大隊 第八師管

三 兵役法施行規則第七條ノ二ノ該當者ノ徵集ニ付テハ本表ノ人員増減ニ依リ特ニ変更ヲ要セザルモノトス

289
291
219

281
217

徵集陸軍兵配賦員數區分表中増減表

一〇一	四	大	二	六	八	八	四	四	五	五	一〇一	八	東	一	一	第
六三	二	四	二	二	二	六	二	二	四	五	六三	四九	東	三	二	第
六二	二	五	二	二	四	二	二	二	四	五	六二	六二	東	二	三	第
五〇	二	三	二	二	七	二	二	二	三	四	五〇	一五	東	六	十	第
四一	二	二	二	二	四	二	二	二	二	九	四一	四五	東	三	十	第
六六	二	二	二	三	二	四	二	二	四	九	六六	三六	東	三	十	第
三一	二	二	二	二	四	二	二	二	一	九	三一	三一	東	三	十	第
五一	二	二	二	二	六	二	二	二	三	七	五一	一九	東	一	九	第
四一	二	二	二	三	二	二	二	二	三	〇	四一	二〇	東	三	九	第
四二	二	二	二	二	六	二	二	二	二	八	四二	四二	東	三	十	第
四六	二	二	二	三	二	二	二	二	三	五	四六	三九	東	三	十	第
五一	二	四	二	二	二	五	二	二	三	二	五一	一〇	東	二	十	第
七三	二	四	二	五	一	四	二	二	四	六	七三	七三	東	三	十	第
四三	二	二	二	二	五	二	二	二	三	〇	四三	三三	東	三	十	第
七六一	三〇	四	二	六	二	一	六	三	四	五	七六一	七六一	計			

興ノ欄ノ數ハ増加ノキ數(活派内ノ數ハ減ノキ數)第一補充兵ノ欄ノ數ハ減スルキ數トス
 隊中其ノ徵集師管ニ付特ニ指定シテルモノ(達別紙第一號表備考第六)左ノ通増加ス
 大隊 第十二師管
 大隊 第八師管
 則第七條ノ二ノ該省者ノ徵集ニ付テハ本表ノ人員増減ニ依リ特ニ変更ヲ要セサルモノトス

保存期限

決裁指定

決行指定

平島

政務次官 回付

決裁前

連帶

軍事、兵務、動員、主計、不糧

陸軍省

防備、医事、衛生

受領番號

貳第 五 六 七 號

起元廳(課)名

徵募課

昭和九年徵集陸軍兵配賦變更之關係件

陸軍省 衛生課 9.9.5

主務局長

受領番號

昭和九年九月三日

昭和九年九月五日

決行後

局長

局長

主務課長

主務課員

次官

高級副官

主務副官

政務次官

參事官

書記官

審案 筆記者

局長

課長

局長

課長

局長

課長

局長

課長

局長

課長

局長

課長

別紙

昭和九年三月陸密第一四一號達及同年八月陸密第四六〇號通牒ニ依ル配賦變更事項

更事項

- 一 配賦員數區分ヲ更ニ附表ノ通増減ス
- 二 各隊配當員數中飛行隊飛行各ノ人員ヲ更ニ左ノ通増加ス（本人員亦特ニ増加スル人員ニシテ別ニ指示アル迄ハ各隊ノ定員外トシテ取扱フモノトス）

飛行隊飛行兵增加人員區分表

師團	第	隊	隊	人員
第三	第十	第七	第一	一三一
第十二	第十六	第四		六五
		第三		九三
		第四		四九
		合計		一九六
				九三
				四九
				三三八

附表

昭和九年徵集陸軍兵配賦員數區分表中増減表

考 備	兵 充 補 一 第							現 役 兵		種 役		師 管	
	計	工 兵	工 兵	砲 兵			騎 兵	步 兵	計	飛 行 兵	科 官		
				野 砲 兵	山 砲 兵	野 戰 砲 兵					近 衛 兵		軍 醫 官
	四六	二	二	五	五	三	二九	四六	二八	二八	三	一	第一
	二八	二	二			三	一九	二八	二八	二	三	二	第二
	二八	二	二	二		二	二八	二八	二八	三	六	三	第三
	二二	二	二			三	一五	二二	三三	四	四	四	第四
	一九		二			二	一五	一九	(大)三五	三	五	三	第五
	二七		二	二	二		一九	二七	(七)三四	三	六	三	第六
	一四		二			二	一〇	一四	一四	七	七	三	第七
	二二					三	二七	二二	三三	八	八	三	第八
	一八		二		二		一四	一八	二八	九	九	三	第九
	一八		二			三	一三	一八	二七	三	十	三	第十
	二〇		二	二			一六	二〇	二〇	三	十	三	第十一
	二四		二	二	二		二八	二四	二四	三	十	三	第十二
	三二		二			四	二二	三二	三三	四	十	三	第十三
	二〇		二			二	一六	二〇	(七)三七	六	十	三	第十四
	三三		二	一		三	二四	三三					計

一 本表中現役兵ノ欄ノ數ハ増加ス(キ數)括弧内ノ數ハ減ス(キ數)第一補充兵ノ欄ノ數ハ減ス(キ數)トス
 二 本表ノ員數ハ昭和九年三月陸密第一四一號逡別表第一號ノ員數ニ對シ同年八月陸密第四六〇號通牒附表ノ員數ヲ増減シタルモノニ對シ更ニ増減ス(キ數)トス
 三 本表ニ依ル配賦變更ノ為兵後法施行規則第七條ノ二ノ該當者ノ徵集ニ付テハ特ニ變更ヲ要セザルモノトス

保存期限

十年

決裁指定

次官

決行指定



政務次官 回付 決裁前(連帶)課名 軍事事務局 動員主計衣糧 決行(決裁)後 回覽課名

受領

第五六七號

起元廳(課)名

徵募課

件名 特增加徵集兒飛行兵配當二間不儿件

大臣

次官

高級

主務副官

主務局長

主務課長

主務課員

主務局長

受領

昭和 年 月 日

連帶

局長

課長

大臣官房

受領

昭和 年 月 日

決行(決裁)後 回覽

局長

課長

差

直

9.12.3.

時

衣糧課

9.12.6

時

審案 筆記者

副官より近衛第三第三第十六第二十師團臺灣
關東軍參謀長、參謀本部教育總監部庶務
課長、陸軍航空本部長、陸軍兵器本部長、
通牒案（第三第十六師團留守部經由）
陸密

昭和九年陸密第四六〇號及同第五一四號ニ依リ
特ニ増加徵集セル飛行兵ハ別ニ指示アル迄各隊ノ
定員外トシテ取扱フコトニ達セラレアルモ今田之
カ充當ニ関シ左ノ通定メラレタルニ付依命通
牒ス

一 昭和九年陸密第四六〇號ニ依リ特ニ増加セ

凡人員ノ充當區分左ノ如シ

一、第一、第二、第三、第四、第六、第八聯隊ノ全員

第五聯隊ノ三五名第七聯隊ノ四六名ハ昭

和九年軍令陸乙第十號飛行隊ニ人員増置

ノ件第一項ニ依リ増置人員ニ充當ス

又第五聯隊及第七聯隊ノ殘餘人員ハ昭和

九年軍令陸甲第十四號滿洲派遣飛行諸隊

編成及派遣要領ニ依リ第二大隊及第十二

聯隊第二大隊編成ニ充當シ尚殘餘人員ハ

凡ト千ハ右編成ノ爲生ラシキ當該部隊平時

編制上ノ缺員ノ一部補充ニ充當ス

秘

第五号

航秘第 六六〇號

昭和九年度徵集陸軍兵配賦變更ニ
依ル增加人員ノ充當區分ノ件照會

昭和九年十月十二日 陸軍航空本部總務部長

小笠原 數

陸軍省副官 牛島 滿 殿

昭和十年度航空兵隊本科專門教育ノ實施及之カ統制上必要ニ付昭和九
年九月陸密第五一四號ヲ以テ通牒セラレタル飛行隊飛行兵增加人員ノ
將來ニ於ケル充當區分至急承リ度照會ス



保存期限

永久

決裁指定

局長

決行指定

牛島

二一

政務次官
回付
決裁前
連帶
課名

決行(決裁)後
回覽
課名

永久甲
三
三

受領番號
肆第五一七號
起元廳(課)名
第四師團
件名
在學徵集延期中者外國旅行三閱之件

政務次官

參與官

書記官

審案
筆者

大臣

次官

高級副官

主務副官
官房御用掛

主務局長

主務課長

主務課員

主務局
受領番號
昭和三十二年三月廿三日

連帶

課長

大臣官房
受領了結
昭和三十一年三月廿八日

決行後
回覽

課長

陸軍

陸軍省
第四師團
在學徵集延期中者外國旅行三閱之件

副官第四師團參謀長宛回答案
(電報)

陸方。

二十日附副第六三師照會，仲在學

徵集延期差支十二

陸方。

昭和十年三月廿三日

新設部... 宛回答案... 徵集延期差支十二

奉命



領事第五一七

師第四副甲第六三號

在學徵集延期中ノ者外國旅行ニ關スル
件照會

昭和十年三月二十日 第四師團參謀長 田中 靜 壹

陸軍省副官 牛島 滿 殿

在學徵集延期中ノ者ニシテ別紙第一ノ通外國旅行願出アリ本件ハ許
可スヘキ限リニアラサルモノト思料スルモ別紙第二學校長ノ證明ニ
依レハ日米學生學術交換ノ旨記載セラレアルヲ以テ或ハ主務省ノ認
可ヲ經アルモノニモ考ヘラレ聊カ疑義ニ亘ルニ付何分ノ指示アリ度



陸 軍

別紙第一

在学徴集延期中外國旅行申請件願

本籍 大分府南河内郡狭山村大字茶葉木中野九松六番地

住所 大分府泉北郡高石町相衣中野九松六番地

明治大学商科本科二年生 石川良作

明治四年五月四日生

今般修学ノ目的ヲ以テ在記期間北米合衆國太平洋沿岸ニ旅行致度云々
就而別紙明治大学長証明書相添ヘテ件々御許可仰度及願出云也

明治四年九月記

期間 自昭和四年三月廿八日起至昭和四年九月末

以上

昭和四年三月廿五日

石川良作 本人

石川良作

大分パソコノビニヤ



櫻井隊司令部宣

昭和三十二年三月五日

スル

前記願出、通相違無之候也

昭和拾年三月拾五日

南河内郡狹村長橋本増太郎



昭和三十二年三月五日

昭和三十二年三月五日

昭和三十二年三月五日

昭和三十二年三月五日

昭和三十二年三月五日

昭和三十二年三月五日



別紙第二

證第八一九號

證 明 書

大 阪 府

商 學 部 二 年

石

川 良

作

明 治 四 十 五 年 三 月 四 日 生



右者今般春季休暇ヲ利用シ日米學生學術交換並ニ左記事項研究ノ爲渡米スルモノナルコトヲ證明ス

- 一、英語實習
- 一、貿易研究

昭和十年三月十六日

明治大學總長 鷓 澤 總



別紙第三
第二三〇號

在學證明書

石川良作

明治四十二年三月四日生

一	本籍地及族稱	大阪府南河内郡狹山村字某黄木四九六 平民
二	現住地	東京市麹町区麹町一四ノ三 青葉花方
三	在學ノ學科、學部及學年	商學部第三學年
四	入學ノ年月日	昭和八年四月一日
五	卒業又ハ終了ノ年月日	昭和十一年三月三十一日
六	修學ノ概況	修學ノ實アリ

右者本學ニ在學シ引續キ修學中ナルコトヲ證明ス

昭和十年四月一日

明治大學總長 法學博士 鵜澤總明



保存期限

決裁指定

決行指定

牛島

政務次官
參與官
事務次官
兵務局長
勲員
統制課
決行(決裁)後
回覽課名

永久甲
久仲

書記官

受領
番號
陸軍省
貳第
五二九
號
(起元廳(課)名)

兵役法施行規則中改正件

徵募課

103.18
第12號
勲員課

大臣
參與官
政務次官
高級副官
書記官
審案
主務副官
官房御用掛
主務課員
局長
主務
課長
局長

牛島
高橋
中島
小園江
中島

主務局長			大臣		
受領	提出	號番	局長	次官	政務
昭和 十年 三月 廿九日	昭和 十年 三月 廿日	軍機第三二號	局長	次官	政務
昭 和 年 三 月 廿 九 日	昭 和 年 三 月 廿 日				
了結	領受	出提	領受	號番	
昭 和 年 三 月 廿 九 日	昭 和 年 三 月 廿 日				

三一

連帶局長
長課
長課
長課
長課

大臣ヨリ参謀總長、教育總監へ照會案

陸普

兵役法施行規則中別紙ノ通改正致度ニ付
至急御意見承リ度照會ス

陸普第一四五二號

昭和十年三月廿日

(右異存ナキ回答アリタル後)

省令案

陸軍省令第三三號

陸軍省令第三三號

三月二十日官報掲載

兵役法施行規則中左ノ通改正ス

昭和十年三月二十日

官報照合

陸軍大臣



第八十九條第一項表高射砲隊ノ兵員ノ行中「第三師管」ヲ「第一、第三、第十二及第十六師管」ニ改ム

第九十條第一號表上欄中「各師管ノ鐵道兵、電信兵」ノ下ニ「飛行兵」ヲ加ヘ「鐵道兵及電信兵ヲ除ク」ヲ「鐵道兵、電信兵及飛行兵ヲ除ク」ニ改メ同表下欄中「飛行第一聯隊」及「飛行第四聯隊」ヲ削ル

同條第三號中「但シ飛行聯隊ニ在リテハ整備隊ノ單位ニ換算シタルモノトス」ヲ「但シ飛行聯隊ニ於ケル換算ノ單位ハ別ニ定ムル所ニ依ルモノトス」ニ改ム

第九十三條第四號(州)號ヲ左ノ如ク改ム

(州) 自動車ヲ有スル部隊ニ徵集スベキ兵員ノ一部ハ自動車ニ關スル特別ノ技能ヲ有スル者ヲ以テ之ニ充テ騎兵中自動車部隊ノ要員及輜重兵中自動車中隊又ハ之ニ準ズルモノノ要員ハ之ニ適スル者ヲ以テ之ニ充ツ

前項ニ規定スルモ^者ノ外特別ノ技能ヲ有スル者ニシテ其ノ有スル技能ヲ必要トスル部隊ニ徵集シ得ベキ者ハ之ヲ當該部隊ノ要員ニ充ツ

前二項ノ規定ニ依ル充當ニ當リ同一種類ノ者ヲ二箇以上ノ部隊ニ充當スル場合ニ於ケル充當順序ニ關シテハ(ト)號及第四號第二項ノ規定ニ依ル

同條第四號(ト)號中甲號及乙號ヲ左ノ如ク改ム

(甲) 第七條ノ二第一號ニ該當スル者

陸軍補充令第五十四條各號ニ該當スル者ハ各號毎ニ更ニ之ヲ區分ス(第三號ニ該當スル者ハ更ニ醫師免許證ヲ有シ若ハ之ヲ受クベキ資格アル者ト藥劑師免許證ヲ有シ若ハ之ヲ受クベキ資格アル者トニ區分ス)

(乙) 第七條ノ二第二號ニ該當スル者

陸軍補充令第五十四條第四號ニ該當スル者ハ更ニ之ヲ區分ス

同條第四號第二項ヲ左ノ如ク改ム

(ハ) 號ノ規定ニ依ル充當ニ當リ本籍師團内又ハ本籍師團外ニ同一兵種ノ部隊(衛戍病院ヲ含ム)ニ箇以上アルトキハ部隊番號(部隊番號ナキモノ又ハ部隊番號同ジキモノニ在リテハ適宜)ノ順序ニ依リ一名宛交互ニ之ニ充ツ

第九十四條 前條(ハ)號ノ規定ニ依ル充當ニ當リ(ハ)號及(乙)號ノ各第二項ニ依リ區分シタル各區分毎ノ人員ニ付陸軍大臣ニ於テ特別ノ定

ヲ爲シタル人員ニ超過スル人員アル場合ニ於テ之ヲ二箇以上ノ部
隊ニ充當スルニ^{當リテ}成ルベク陸軍大臣ノ定メタル當該區分ノ人員ニ
比例セシメ一不足スル人員アル場合ニ付テハ之ニ準ズ^{ニ於テ}、^{同號ノ}
者ガ在營年限ヲ短縮シ得ベキ部隊ノ要員ニ達セザル場合^{ニ於テ}二箇
以上ノ部隊ニ充當スルニ當リテハ之ト同一部隊ニ充當スル(丁)號ノ
者トノ比ヲ成ルベク同一ナラシムベシ

第百十七條 聯隊區徵兵署ニ出頭ヲ命ゼラレタル者青年訓練手帳、
教練檢定合格證明書、教練證明書又ハ學業其ノ他醫師、齒科醫師、
藥劑師、獸醫師、自動車運轉手、航空機乘員等ノ職業ニ關スル卒
業證書、修業證書、免許證、技術證明書等ヲ有スル者ナルトキハ
各當該證書ノ類ヲ、現役將校ヲ配屬シタル學校ニ在學中ノ者ニシ
テ教練ヲ受^ケタル者ナルトキハ之ニ關スル當該配屬將校ノ證明書
ヲ聯隊區徵兵署ニ出頭ノ際携行スベシ

第四百五十八條中「二通」ノ下ニ「一徵募區ニ二以上ノ市在ルトキハ必要ナル數ヲ増加ス」ヲ加フ

第四百五十九條第二項第五號第二項中「第一號、同第三號、同第四號該當者ニ付テハ」ヲ「各號該當者ニ付テハ必要ニ應ジ」ニ改メ「技」ノ下ニ「第二號該當者ニ付テハ「經」、」ヲ加ヘ同項ノ次ニ左ノ一項ヲ加フ

第九十三條第四號(四)號ノ規定ニ依リ充當スベキ者ニ付テハ適宜ノ符號ヲ付スルコトヲ得

第二百五十五條ニ左ノ一項ヲ加フ

前項ノ通知ヲ受理シタル聯隊區司令官ハ之ヲ本籍地ノ市町村長ニ通知スベシ

第二百七十七條第二號中「補充ス」ノ下ニ「終期ニ於ケル缺員補充ノ期間ハ入營ノ日ヨリ十日トス」ヲ加フ

第二百七十八條中「附表第一ニ掲グル入營期日」ノ下ニ「又ハ別ニ定ムル入營期日」ヲ加フ

第二百七十九條ニ左ノ但書ヲ加フ

但シ輜重兵特務兵ニ在リテハ第二百七十七條第二號ニ規定スル期間内ニ入營セシメ得ル者ニ限ル

第三百二十六條第三號ヲ左ノ如ク改ム

三 削除

第三百六十九條第二項及第三百七十一條中「臺灣」ノ下ニ「、關東州、南滿洲鐵道附屬地」ヲ加フ

附表第二中騎兵、野砲兵、山砲兵、野戰重砲兵、騎砲兵、重砲兵、高射砲兵及輜重兵ノ行ヲ左ノ如ク改ム

騎兵	甲種乙種右左各○・七 以上ノ者但シ自動車ヲ 取扱フ兵員ハ辨色力完 全ナル者	聽力完全身體輕捷騎乘 ニ適シ性質敏捷言語明 晰ナル者但シ自動車部 隊ノ要員ニ付テハ戰車 兵ニ準ズ	自動車部隊ノ兵員ニ在リテ ハ其ノ要員ノ若干名ハ自動 車、發動機類ノ使用ニ慣レ タル者
----	--	--	---

高射砲兵	重砲兵	騎砲兵	野戰砲兵	山砲兵	野砲兵
<p>甲種乙種右左各一・〇以上ニシテ辨色力完全ナル者</p>	<p>步兵ニ同ジ但シ自動車ヲ有スル砲兵隊中自動車ヲ取扱フ兵員ニ在リテハ辨色力完全ナル者</p>				
<p>聽力完全ナル者但シ要員ノ一部ハ特ニ性質沈着敏捷ナル者</p>	<p>身幹概ネ中等以上ニシテ聽力完全脊力アル者</p>	<p>概ネ騎兵ニ準ズ</p>	<p>聽力完全ニシテ脊力アル者</p>	<p>身幹中等以上ニシテ脚力強健聽力完全脊力アル者</p>	<p>聽力完全ニシテ脊力アル者</p>
<p>要員ノ一部ハ自動車、發動機ノ使用ニ慣レタル者及木工、鍛工兵ニ適スル者、的學力アル者ヲ加フ</p>	<p>要員ノ若干名ハ原動機、工作機若ハ電氣機取扱、機械工業又ハ製鐵工業ニ慣レタル者、的學力アル者ヲ加フ</p>				
<p>的學力アル者ヲ加フ</p>	<p>要員ノ若干名ハ鞍工、木工、鍛工兵ニ適スル者但シ自動車ヲ有スル砲兵隊ノ兵員ニ在リテハ其ノ要員ノ若干名ハ自動車、其ノ發動機類ノ使用ニ慣レタル者、的學力アル者ヲ加フ</p>				

輜重兵	步兵ニ同ジ但シ自動車ヲ取扱フ兵員ハ辨色力完全ナル者	成ルベク騎乗ニ適シ且脊力アル者但シ自動車中隊又ハ之ニ準ズルモノノ要員見込者ニ付テハ概ネ戦車兵ニ準ズ	自動車中隊又ハ之ニ準ズルモノノ要員ノ一部ハ自動車若ハ發動機ノ使用ニ慣レ又ハ之ニ準ズル製造修理ノ技能ヲ有スル者
-----	---------------------------	---	--

附錄第二様式其一註記ニ左ノ一號ヲ加フ

二十三 騎兵中自動車部隊ノ要員及輜重兵中自動車中隊又ハ之ニ

準ズルモノノ要員見込者ニハ聯隊區司令官ニ於テ右側欄 外ニ

自動車要員適ト押捺スベシ

附 則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

理由

本改正ノ理由左ノ如シ

- 一 航空兵科技術幹部候補生要員ハ各師管ノ者ヲ飛行第五聯隊ニ徵集スルコトトス
- 二 騎兵中自動車部隊ノ要員及輜重兵中自動車中隊要員ニ關シ適任者ヲ得ル如ク徵集上必要ナル諸件ヲ規定シ同時ニ各隊ヲ通ジ特別ノ技能ヲ必要トスル者ヲ必要ニ應ジ徵集シ得ル如ク規定ス
- 三 幹部候補生資格者及青年訓練修了者ノ各隊充當要領ヲ明確ナラシム
- 四 徵兵検査ノ際學校教練ニ關スル證明書ヲ携行セシムルコトトス
- 五 即日歸郷者ヲ聯隊區司令官ヨリ市町村長ニ通知スルコトトス
- 六 其ノ他從來ノ經驗ニ鑑ミ必要ナル事項ヲ改正ス

閣

式第 五二九 號

陸軍

參謀 兼 第一 部 第一 號



兵役法施行規則中改正ノ件回答

昭和十年三月二十二日

參謀總長 載 仁 親

陸軍大臣 林 銑 十 郎 殿



首題ノ件ニ關シ三月二十日陸普第一四五二號ヲ以テ照會ノ趣異存
ナシ

貳 第五二九號 其二

昭和 10.3.25 前午 陸軍大臣

陸軍

敕用第 五參〇 號

兵役法施行規則中改正ノ件回答

昭和十年三月廿五日

教育總監 眞崎 甚三郎



陸軍大臣 林 銑十郎 殿

陸普第一四五二號ヲ以テ照會ニ係ル首題ノ件當方異存無之

第一四

牛島

執行指定

決裁指定

保存期限

永久

保存期限

政務次官
參與官
回付

決裁前連帶
後課名

書記官

執行決裁後
回覽課名

永久甲之紋

受番領
件名

壹第二三一號

起元處(課)名

徵募課

兵役法第七十三條規定之依儿學校指定件

政務
次官

參與官

書記官

審案
筆記者

大臣

次官

高級
副官

主務副官

主務
局長

主務
課長

主務課員

房官臣大	課局務主	號番
了結領受	出提領受	軍徵第一五號
昭和	昭和	昭和十年一月二十八日
昭和	昭和	昭和十年一月二十八日
昭和	昭和	昭和十年一月二十八日

決裁後
行覽
局長

決裁後
行覽
局長

長課

長課

陸

軍

陸普

大臣ヨリ文部大臣へ照會案

左記學校ヲ兵役法第七十三條ノ規定ニ依リ指
定スルコトト致度御具存ナクハ告示可致
照會ス

左記

財團法人天津共益會立 天津日本商業學校

陸普第六一六號 昭和十年二月十二日

天津日本商業學校
昭和十年二月十二日

陸普第六一六號

陸普

(右異存十千回答アリタル後)

告示案

陸軍省告示第十四號

陸軍省告示第十四號(第三十五)

昭和三年陸軍省告示第十二號兵役法第七
十三條及兵役法施行令第一百三十九條ノ規定ニ
依リ指定スル女子校ノ件申左ノ通改正スル
昭和十年三月五日 陸軍大臣

滿洲醫科大學ノ次ニ天津日本商業學
校ニ加テ

(右指定告示ト同時ニ)

次官ヨリ外務次官宛 通牒案
陸普

一月二十五日附亞ニ普通第四三號ヲ以テ申
越ケレタル天津日本商業學校ヲ兵役法第七
十三條同施行令第三百十九條ノ規定ニ依テ指
定ノ件文部省十七協議ノ上三月十五日陸軍
省告示第十四號ヲ以テ告示セラレタルニ付御
承知相成ヌ

陸普第一三三一九號 和十年三月十五日

(右告示係十一年四月二十五日)

伏



亞二普通第四三號

昭和十年一月二十五日

外務次官 重光

陸軍次官 橋本 虎之助 殿

天津日本商業學校指定ニ關スル件

財團法人天津共益會立天津日本商業學校ニ對シ兵役法第七十二條及
 兵役法施行令第三百三十九條ニヨリ指定方別添寫ノ通り在天津川越總
 領事ヨリ稟請アリタル處同校ハ既ニ在外指定學校トシテ指定セラレ
 且ツ配屬將校ノ配屬ヲモ受ケ居リ經營確實ニシテ本件指定上何等差
 支ナキモノト認メラルルニ付可然御詮議相成度此段申進ス



別紙添付



外務省

寫

昭和十年一月十六日

外務大臣 廣田弘毅殿

在天津總領事 川越 茂

天津日本商業學校ノ資格ニ關スル件

財團法人天津共益會立天津日本商業學校ハ昭和八年七月七日在外指定ト爲リ客年八月一日以降陸軍省ヨリ配屬將校ノ配屬ヲ受居ルヲ以テ兵役法第七十三條及兵役法施行令第三百三十九條ノ指定ニ依ル指定學校トシテノ權利ヲ享有シ得ルモノト思考セララル處未タ右ニ關スル陸軍省告示無之ニ付陸軍省ニ對シ右告示方可然御移牒相成度

外務省



文 部 省

官普二二號
陸軍部
第一三二號

昭和十年三月十二日

文部大臣 松田源治

陸軍大臣 林銑十郎殿

兵役法第七十三條ノ規定ニ依ル學校指定ノ件

二月十二日付陸普第六一六號ヲ以テ財團法人天津共益會立天津日本商業學校ニ關スル標記ノ件御照會ノ處當方ニ於テハ別ニ異存無之ニ付右告示方可然御取計相煩度



保存期限

永久

決裁指定

次官

執行指定

牛島

一

政務次官
參與官
回付

決裁
前連帶
後課名

陸軍省

永久
甲
三
改

陸軍省
10.1.10
陸軍省
課長

行決裁後
覽課名

受番件

領號
壹第三七一四號

起元應(課)名

海軍省

名
海軍省
於服役せしむ(キ短期現役兵配賦ニ関スル件)

大臣

委

次官

政務
次官

參與官

書記官

審案
筆記者

主務
局長

本橋

主務
課長

高級
副官

牛島

主務
課員

主務副官
官房兼用掛

主務局長
受領
昭和九年十一月三日

連帶
局長

田中

長課

田中

大臣官房
受領
昭和九年四月四日

行決裁後
覽局長

長課

陸軍省

第一乃至第十三第十四第十六師團長へ達案

(第三第七第十六師團の留守部經由)

陸普

昭和十年海軍ニ於テ服役セシムヘキ短期現役
兵ノ員数別表ノ通配賦ス其ノ選定等ニ
付テハ左記各號ニ依ルヘシ

左記

陸普第四八號

昭和十年一月十一日

- 一 左ノ要件ヲ具フル希望者ヲ以テ充當スル者トシ
- (イ) 體格等位甲種ノ者トシ視力ノ關係トシ乙種トシ
- 為スル者トシ爾他ノ點ニ付テハ由權ヲルルハキ
- 體格者ナルコト



四) 胸部疾患又ハ脚氣ノ既往症ヲ有セザル
付者ナルコト

訓令第四八號 昭和十一年一月十一日

二) 聯隊區司令官ハ其ノ聯隊區ニ配賦セラレ
タル要員ニ對シ前號該當者ニ過不足アル
トキハ速ニ其ノ員數ヲ師團長ニ報告シ師
團長ハ要員ヲ充足シ難キ聯隊區アルトキ
對ハ師管内ニ於テ彼是配賦人員ヲ變更ス
充足スルコト

三) 師團長ハ師管ニ配賦セラレタル人員ニ對シ
第一號該當者ニ過不足アルトキハ其ノ員數
ヲ陸軍大臣ニ電報々告スルコト

海軍大臣

第一副官海軍省副官第十九第二十師團

海軍閣東軍支那駐屯軍參謀長一通牒

案

陸普

昭和十年海軍ニ於テ服役セシムルハ并短期現役

兵ノ員數別表ノ通各師團ニ配賦セラレタル

ニ付通牒スル機ニ前送付セラルタル

ニ追テ選定要件等ニ付テハ左ノ通牒達タルニ

付申添

陸普第四八號

昭和十年一月十一日

(左記各師團長ノ達用左記全文トス)

別表

昭和十年海軍ニ於テ服役セシムヘキ短期現役兵配賦表

考 備	計	佐世保	吳	横須賀	鎮守師管
本表ノ人員ハ表中ノ區分ニ基キ海軍志願兵令施行規則第三十二條ノ海軍志願兵徵募區内ヨリ之ヲ徵集スルモノトス	二三			二三	第一
	一六			一六	第二
	二二		一三	九	第三
	一三		一三		第四
	一九		一九		第五
	三八	三八			第六
	一五			一五	第七
	二四			二四	第八
	一一		一一		第九
	二三		二三		第十
	一九	一九			第十一
	二四	二三	一		第十二
	三三			三三	第十三
	二〇		二〇		第十四
	三〇	八〇	一〇〇	一一〇	計

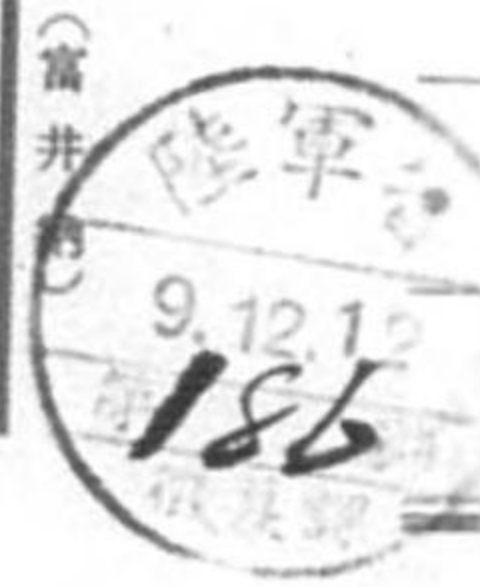
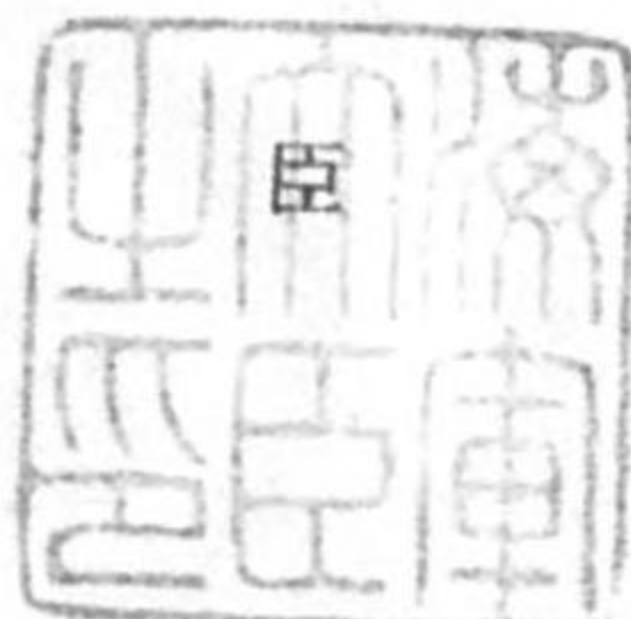
陸軍省 第一〇四號

官房第五二二五號

昭和九年十二月十日

陸軍大臣 殿

海軍大臣



海軍ニ徵集スベキ短期現役兵ノ件照會

昭和十年度ニ於ケル海軍ニ徵集スベキ短期現役兵ノ員數左記ノ通ニ候條
各所管鎮守府ヘ其ノ海軍志願兵徵募區ヨリ徵集スル様御配當相成度
追テ要員ハ例年ノ實蹟ニ鑑ミ身體強健ニシテ特ニ胸部疾患ノ既往症等
無キ者ヲ成ル可ク普遍的ニ配當徵集スル様御配慮ヲ得度申添候

海軍

記

横須賀鎮守府

一二〇名

吳鎮守府

一〇〇名

佐世保鎮守府

八〇名

計

三〇〇名

(二八〇)

4000

(富井納)

(終)

陸軍省 陸軍部 陸軍大臣 宛



電報譯

二月十五日 午前六時 五分發

第十七號

陸軍大臣 宛 發信者 第十二師團長


短期現役兵海軍服役希望者佐世保要員二三
名過剩了儿毛 吳要員一名、配當之對之該當者十二

陸軍

合

陸軍電信著信紙

注意
 受付當日受信セシモノハ月日ヲ記入セズ
 受付時刻ノ表示中「正」トアルハ午前「下」トアルハ午後ヲ示ス

文	本	定指	受信氏名	局發	局著
<p>タンキヘケウメカケモフキホキカウニサセホヨウインニシメイカシ インーメイノハイトウニタイシガ イトウシヤナシーニシオオ</p>			<p>リクグ ンセウレリクグ ンダイジン</p>	<p>官 六八字 クルメハナバ タケ ニニ コ六時五分</p>	<p>ニ〇 <small>通過番號</small></p> <p>午〇六 <small>受信時分</small></p> <p>陸三五分</p> <p>技手 ハ</p> <p>著信番號 一七</p>
		事記			
				印 附 日	
					

陸軍省

保存期限

十年

決裁指定

局長

決行指定

牛島

政務次官回付 決裁前後連帶
參與官回付 決裁後一課名

決行(決裁)後
回覽課名

受番 壹第三七四號 其四
起元應(課)名 第十二師團
件名 海軍短期現役兵配賦變更件

大臣 委
政務次官
高級副官
參與官
書記官
主務副官
官房御用掛
主務課員
審案 筆記者

主務局長 昭和十年三月五日
主務局長 昭和十年三月五日
連帶 局長
決行後 局長
決行回覽 局長
大臣官房 了結 昭和十年三月五日

陸軍

第十二師團長へ達案（電報）
陸五九

一月十一日附陸普第四八號海軍ニ於テ
服役セシムヘキ短期現役兵配賦ノ達別
表中第十二師管へ配賦ノ兵鎮守府

要員一ヲ削除ス陸五九

昭和十年三月廿一日

第四師團長ノ達案(電報)
陸五九

一月十一日附陸普第四八號海軍ニ於テ

服役セシムルキ短期現役兵配賦ノ達

別表中 第四師管ノ兵鎮守府要

員ニ一名ヲ追加ス

陸五九

昭和十年三月廿二日

(右ト同時ニ)

副官ヨリ海軍省副官一通牒案

陸普七四八七號

一月十日附陸普第四八號海軍ニ於テ

服役セシムルハキ短期現役兵配賦規程

別表中一兵鎮守府要員トシテ第十二

師管ニ配賦シタル一名ヲ削除スルヲ第四

師管ニ増加セラレタルニ付通牒ス

陸普

陸普第一四八七號

昭和十年三月廿二日

陸軍省副官(海軍)

昭和九年

陸軍第三十七師第三

第一師團 徵第四二號
副官部

海軍ニ於テ服役希望ノ短期現役兵過剩人員ノ件
報告

昭和十年二月二十日 第一師團長 柳川平助

陸軍大臣 林 銑十郎殿

客月十一日附陸普第四八號達第三號ニ示シアル首題ノ件配賦人員
ニ對シ三二名過剩ト相成ニ付報告ス



陸軍



四月四日



213714

徵募

陸軍省領報第六七六號



第一七號



電報譯 二月十二日 午前午後三時二分發

大臣宛 發信者 第二師團長

短期現役兵中海軍服役希望者過員二九名

合

徵募

陸軍省報第六五三號

昭和十一年十月二日
午前六時
陸軍省

陸軍

陸軍
10.2
東京

電報譯

二月九日 午前四時三十分發
午後四時五十分著

第四號

合

大臣

宛

發信者第三師團參謀長

三留副九〇、

海軍希望短期現役兵超過十八名（吳七、

橫須賀二、）

至急

陸軍

三師留副乙第九一號

海軍服役希望短期現役兵過不足ノ件報告

昭和拾年貳月九日

第三師團長若山善太郎

陸軍大臣林銑十郎殿

首題ノ件一月十一日陸普第百四八號ニ依リ左記ノ通報
告又

左記

鎮守府	聯隊區	名古屋	岐阜	豊橋	静岡	計
横須賀				四	七	一
吳	過	過	過	三		七
計	三	一				一
						八



陸軍省報第七七四號



陸軍



第一之號

合

電報譯

二月二日 午前四時五分著

大

医宛

發信者 第四師团长

海軍ニ於テ服役セシムヘキ短期現役兵配當十三名ニ對

シ老幼者ニ十六名アリ

陸軍省 報第八四三號

電報譯

二月五日

日午前後

四時五分

時分著

第一三號

合



陸軍大臣宛 發信者 第五師團長
本年海軍ニ於テ服數セシムルニ短期現
役兵二十一名過員ヲ生ス

陸軍部 第六二九號

昭和十一年二月八日 午前八時



第一三號

陸軍

昭和十一年二月九日

電報譯

二月八日 午前八時 五分

陸軍大臣 宛

發信者

第六師團長

海軍服役短期現役兵希望者三九名ノ課員

ハアソ

21

合



軍省
領

七五六

電報譯

二月二十九日午前午後

時時

分分
著發

第

號

合

大臣宛

發信者第七師團

總務課長
海軍部
於子
破役
命生
吉過
景一九名



陸

軍



陸軍省報第六五二



電報譯

二月九日午後四時四十分發

第一二號

陸軍



大臣

宛

發信者第八師團長

弘甲五七

短期現役兵中海軍服役志願二十九名ノ過

合

徵募

陸軍 第三七二四號 其二

昭和十三年十月二日 午前六時 陸軍大臣官

陸軍

陸軍

陸軍 10.2.18

第一七號

電報譯

一月十二日 午前午後

五時 四分 五分 著

副官

宛

發信者

第九師團參謀長

一月十一日 陸普四八第一ニヨル 資格希望者

三〇ニレテ十九名過剩ナリ

海軍徵集スヘキ短期現役兵件

徵募

陸軍省領報第九二五號

電報譯 三月

陸軍省
4
大臣
10
午後

第 號

時時
分分
著發

大臣宛 發信者送下師生以

一師繳一九

短函現發海軍服發存送者過量一三名

陸軍

陸軍省
10.3.4
124

合

陸軍大臣宛

陸軍大臣宛
10.3.20
午前
陸軍大臣官房

陸軍大臣宛
10.3.20
186
陸軍大臣官房

第三四號

電報譯

三月十九日 午前 午後 初時 三十分 分著

徵募

陸軍大臣

宛

發信者

第十三師團長

三月十日陸軍大臣宛の電報ニヨリ 大塚守府要員トテ
報せ居るに本夕該電ノ變更ナキニ付 指示アリ

313714

陸軍第三七四號第一



第二號

電報譯

二月八

日日午午前午後一〇時五五分發

大臣宛

發信者

第十四師團長

徵第一

一月二十一日陸普第四八号、三短期現役兵過剩人員三一名



陸軍部

徵募

陸軍省報第九一二號

昭和十三年三月四日午前
陸軍省官印

小林

陸

陸軍
10.3.12

電報譯

三月二日 午前午後二時五分著

第三號

大 宛 發信者 第十一師團司令部官

本年四月陸軍省四八八海軍短期現役兵配賦要員

ニ對シ選定要員ノ希望者一三名多シ

合

第十六師團司令部 留置第 三〇八 號

陸軍 第九二一 號



陸軍

海軍ニ於テ服役セシムベキ短期現役兵
要員ノ過不足ニ關スル件報告

昭和拾年三月貳日

第十六師團司令部官澁谷伊之彦

陸軍大臣林 銑十郎殿



本年一月十日附陸普第四八號達ニ依ル昭
和十年海軍ニ於テ服役セシムベキ當師管
短期現役兵配賦要員ニ〇名ニ對シ選定要
件ヲ具フル希望者ニ〇名ニシテノ〇名ノ過
剩ナルニ付報告ス

第四師團長へ達案

陸普一。八。

二月二十日附副甲第三九號上申ノ件各本人願
ノ通核備役服役期間ノ延長ヲ命ス

陸普第一〇八〇號

昭和十年三月六日



淡
野
川
三
日
端
海
日
徑
西

領事第三三四

師第四副甲第三四號



陸軍

後備役服役延長ノ件上申

昭和十年二月二十日

第四師團長 稔彦 王

陸軍大臣 林 銑十郎 殿



左記ノ者別紙ノ通後備役服役延長ノ件願出アリ調査セシ處本件ハ
軍事上必要ト認ムルニ付許可セラレ度

左記

後備役陸軍歩兵曹長 自見源一
同 陸軍一等看護長 堀幸市

服役延期願

本籍地 大阪府中河内郡布忍村大字更池拾八番地

後備役陸軍歩兵曹長 自見源一

源一儀

昭和十年三月三十一日後備役滿了、所自昭和十年四月一日至昭和十五年三月三十一日五ヶ年間服役延期相成度別紙理由書相添へ及願出候也

昭和九年十二月八日

右本人 自見源一



陸軍大臣林銑十郎殿

理由書

後備役陸軍歩兵曹長

自見源一

昭和九年十二月八日

陸軍大臣 林銑十郎 殿

源一儀

昭和十年三月三日ヲ以テ服役満了ニ處大正十四年五月一日
 除隊後一回モ勤務演習召集ヲ受ケテ現在帝國在
 郷軍人会布忍村分會會長及布忍村立青年訓練所
 指導員トシテ在郷兵並ニ青年訓練生指導ニ從事致居候
 矣目下國難將ニ迫ラントスル非常時局ニ直面セル折
 柄指導上ニ新ニ進歩セル軍事能力ニ保持増進ヲ
 圖リ以テ萬一ニ備ヘントスル時自己責任ノ重且以テ

